News Release NOMURA

2018年7月26日

関 係 各 位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・名証第一部

2019年3月期第1四半期の連結決算について

野村ホールディングス株式会社（代表執行役社長 グループCEO:永井浩二、以下「当社」）2019年3月期第1四半期（2018年4-6月、以下「当四半期」）の連結決算の概要をお知らせします。

当四半期の収益合計（金融費用控除後）は2,720億円、税前利益は136億円、当社株主に帰属する当期純利益は52億円、希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益（EPS）は1円50銭となりました。

グループCEOの永井浩二は、「このたびの平成30年7月豪雨により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧をお祈り申し上げます。

当四半期は、通商摩擦や地政学リスクの高まりから方向感の見えにくい状態が続き、ドル高進行を背景に新興国市場でリスク回避の動きが進みました。こうした市場環境の中、ホールセール部門、特にフィクスト・インカムを中心にトレーディング・ビジネスが苦戦し、全社業績は低下しました。営業部門も前四半期比で収益がやや減少しましたが、ストック収入費用カバー率は初めて30%台を突破しました。またアセット・マネジメント部門は堅調で、運用資産残高は資金流入を伴って過去最高を更新しました。

今後も、リスク管理を徹底しながらビジネス機会を的確に捉え、いかなる環境下でも安定的に収益をあげることができるビジネス基盤を構築していきます。そして、金融資本市場を通じて、豊かな社会の創造に貢献するという社会的使命のもと、最も信頼できるパートナーとして、お客様とともに“今”以上の“未来”を目指していきます。」と述べています。

決算ハイライト

● 当四半期

➢ 当四半期はアセット・マネジメント部門が堅調で、営業部門も底堅く推移しましたが、フィクスト・インカム、特にトレーディング・ビジネスを中心としたホールセール部門の不振と3セグメント以外の損失もあり、全社利益は大幅に低下しました。

➢ 当四半期末現在の連結貸借対照表の資産合計は42.8兆円、株主資本は2.8兆円でした。当四半期末における速報値（バーゼル3基準）で、連結Tier 1比率は17.1%、連結普通株式等Tier 1比率は16.0%となっています。

	2019年3月期 第1四半期	前四半期比	前年同期比
収益合計 （金融費用控除後）	2,720億円	△28%	△25%
税前利益	136億円	△71%	△82%
当社株主に帰属する 当期純利益	52億円	△77%	△91%

当四半期の各部門の状況

● 営業部門

収益合計（金融費用控除後）は928億円、税前利益は199億円でした。お客様の様子見姿勢が継続したため株式の取引量が大幅に減少し、投資信託の募集買付も低調でした。一方で債券は個人向け国債を中心に販売額が伸び、保険や投資一任契約も前四半期比で増加しました。

投資一任は純増をともなって残高が増加し、ストック収入が拡大しました。費用の抑制もあり、ストック収入費用カバー率は31%に上昇しました。

	2019年3月期 第1四半期	前四半期比	前年同期比
収益合計 （金融費用控除後）	928億円	△5%	△9%
税前利益	199億円	△7%	△20%

● アセット・マネジメント部門

収益合計（金融費用控除後）は261億円、税前利益は103億円でした。アメリカン・センチュリー・インベストメンツ関連損益が前四半期比で減少しました。

ビジネスは堅調で、ETFやEU（欧州連合）の投資信託の統一基準であるUCITS適合ファンドへの継続的な資金流入や時価要因によって、運用資産残高は50.8兆円と過去最高を更新しました。

	2019年3月期 第1四半期	前四半期比	前年同期比
収益合計 （金融費用控除後）	261億円	△5%	△7%
税前利益	103億円	△9%	△24%

● ホールセール部門

収益合計（金融費用控除後）は1,373億円と、前四半期比で35%の減収でした。費用の抑制に努めましたが収益の減少を補えず、74億円の税前損失を計上しました。

- グローバル・マーケッツは、金利、為替および新興国関連ビジネスの減速によりフィクスト・インカムの収益が低調で、エクイティも売買高の減少が影響して前四半期比減収となりました。

- インベストメント・バンキングは、好調だった前四半期比では減収でしたが、地域間連携が奏功して、日本企業による過去最大規模の海外企業買収案件などを獲得できました。

	2019年3月期 第1四半期	前四半期比	前年同期比
収益合計 （金融費用控除後）	1,373億円	△35%	△23%
税前利益	△74億円	-	-

以 上

詳細につきましては、当社ホームページ（https://www.nomuraholdings.com/jp/investor/）にて掲載の決算短信および決算説明資料をご覧下さい。また、本日（2018年7月26日）午後6時30分より、決算説明会（テレフォン・カンファレンス）を開催する予定です。この模様は、当社ホームページ（https://www.nomura.com/jp/）を通じてライブ配信します。

本資料は、米国会計基準による2019年3月期第1四半期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされています。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。本資料は、2018年6月30日現在のデータに基づき作成されています。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料は将来の予測等に関する情報を含む場合がありますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々の状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。